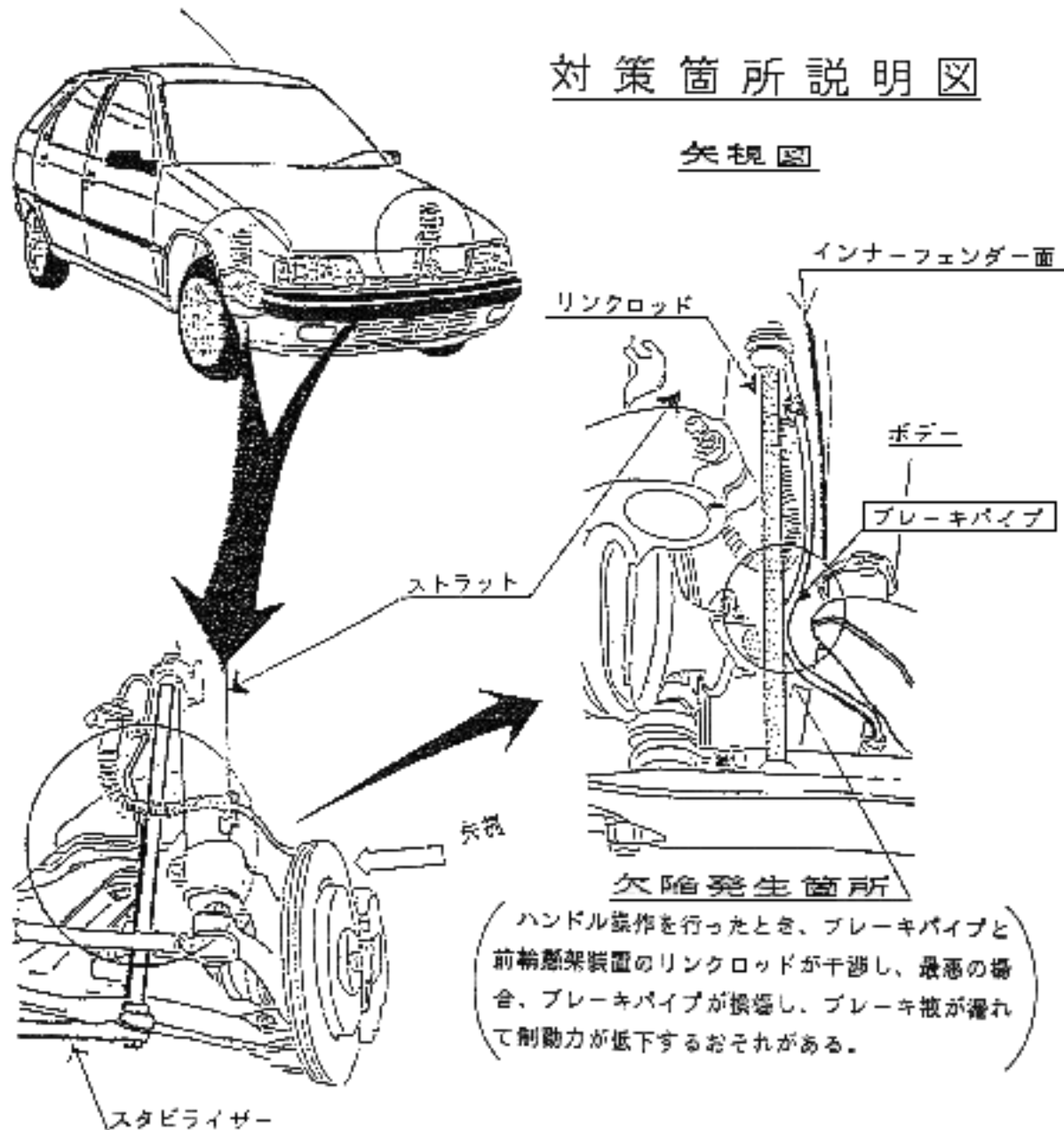


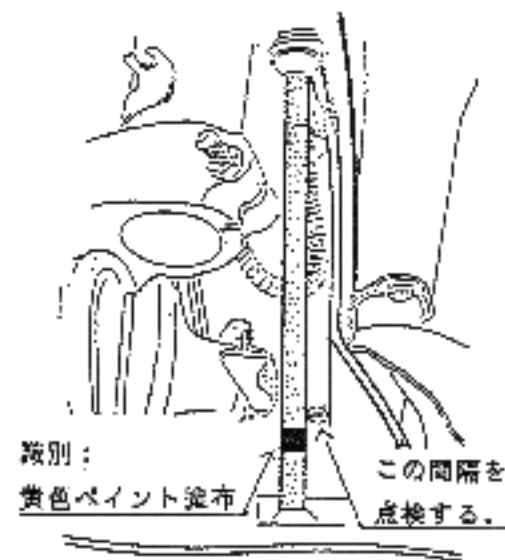
対策箇所説明図

矢視図



ハンドル操作を行ったとき、ブレーキパイプと前輪懸架装置のリンクロッドが干渉し、最悪の場合、ブレーキパイプが損傷し、ブレーキ液が漏れて制動力が低下するおそれがある。

対策後



対策内容

全車両、当該ブレーキパイプとリンクロッドの間隔を点検し、間隔の少ないものは取付位置を修正するとともに、ブレーキパイプに接触痕のあるものは良品と交換する。

注：□ は交換部品を示す